

介護保険事業計画について

- 議題1 調布市の現状
- 議題2 持続可能な介護保険制度の運営について

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

本日の内容

第1部 調布市の現状

1. 高齢者の現状
2. 令和4～6年の介護保険給付費の状況
3. 介護給付費から見られる市の特徴・傾向

第2部 持続可能な介護保険制度の運営について

4. サービスの基盤整備
5. 給付の適正化に向けた取組
6. サービスの安定供給と質の向上

地域包括ケア「見える化」システムについて

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。

介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

インターネットで「見える化システム」で検索するとヒットします。

簡単なユーザー登録が必要ですが、ぜひご覧になってみてください。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

地域包括ケア「見える化」システム

地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システム運営方針

関連情報

お知らせ

(6月17日)データ更新のお知らせ

●介護サービス情報公表システム 令和6年度のデータがシステムに反映されました。

(6月5日)データ更新のお知らせ

●介護保険事業状況報告 令和7年2月月報のデータがシステムに反映されました。

●後期高齢者医療事業状況報告 令和6年5月事業月報のデータがシステムに反映されました。

(5月8日)データ更新のお知らせ

●介護保険事業状況報告 令和7年1月月報のデータがシステムに反映されました。

●後期高齢者医療事業状況報告 令和6年4月事業月報のデータがシステムに反映されました。

システムで利用前の準備について
(ブラウザソフトへの登録)

▼登録済みの方

ログイン

▼初めての方

新規利用者登録

地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための

地域包括ケア「見える化」システム

TOP

現状分析

取組事例

実行管理

ダッシュボード

お知らせ

利用者の情報変更

初期設定

データ登録・出力

情報共有

要介護認定の集計

東京都

調布市

調布市の人口の推移

調布市の介護費用額の推移

調布市の要介護(要支援)認定者数、要介護(要支援)認定率の推移

調布市の保険料額の推移

1. 調布市の高齢者の状況

- ◆ 高齢者人口
- ◆ 高齢者世帯(高齢者夫婦, 高齢者独居)
- ◆ 調布市の将来人口推計
- ◆ 65歳以上の要介護認定者数・認定率

高齢者の状況（令和7年4月1日時点）

総人口:23万9726人
 65歳以上:5万2463人
 高齢化率:21.88%
 75歳以上:3万794人
 後期高齢化率
 :12.85%
 要介護認定者
 :1万1559人(R7.3末)
 要介護認定率:22%

福祉(日常生活)圏域:8
 地域包括支援センター
 ①つつじヶ丘 ②仙川
 ③至誠しばさき
 ④はなみずき ⑤ゆうあい
 ⑥ときわぎ国領
 ⑦ちょうふ花園
 ⑧ちょうふの里

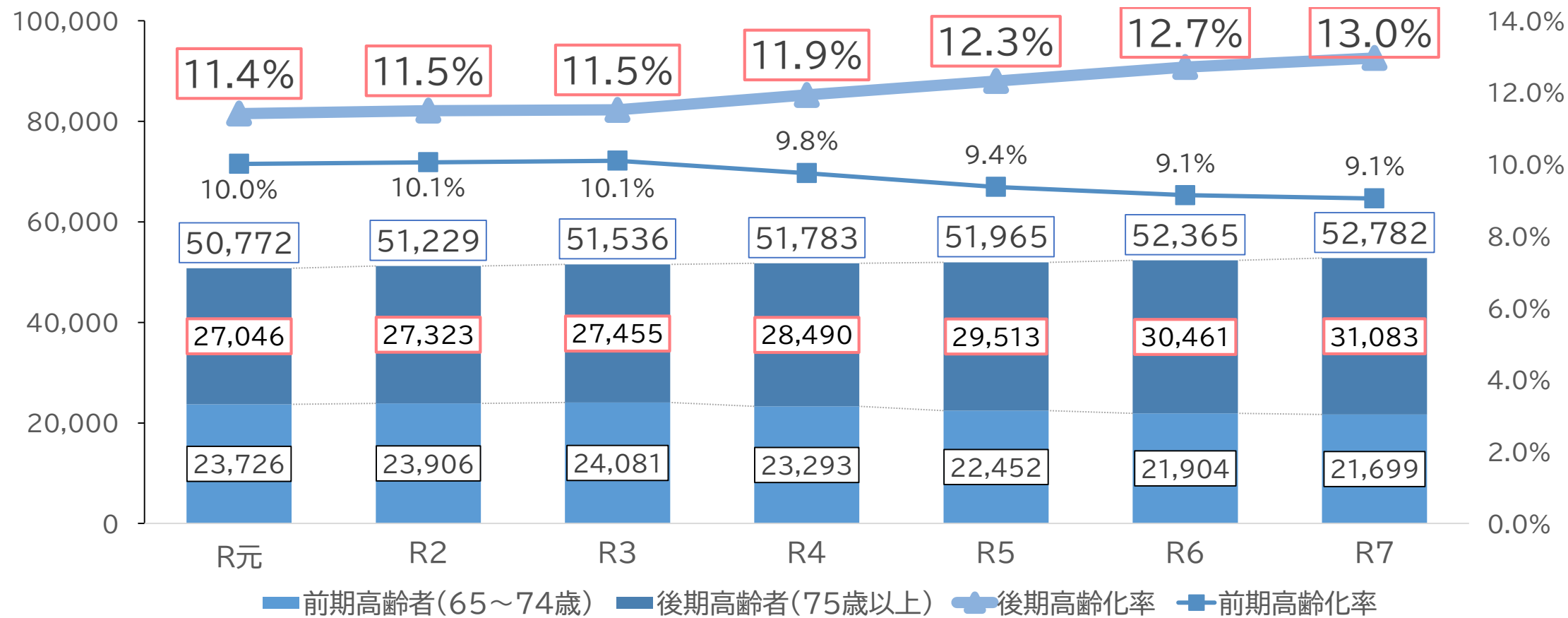
■福祉圏域の地域区分

下記  内の記載は小学校区の名称です。



高齢者人口の推移

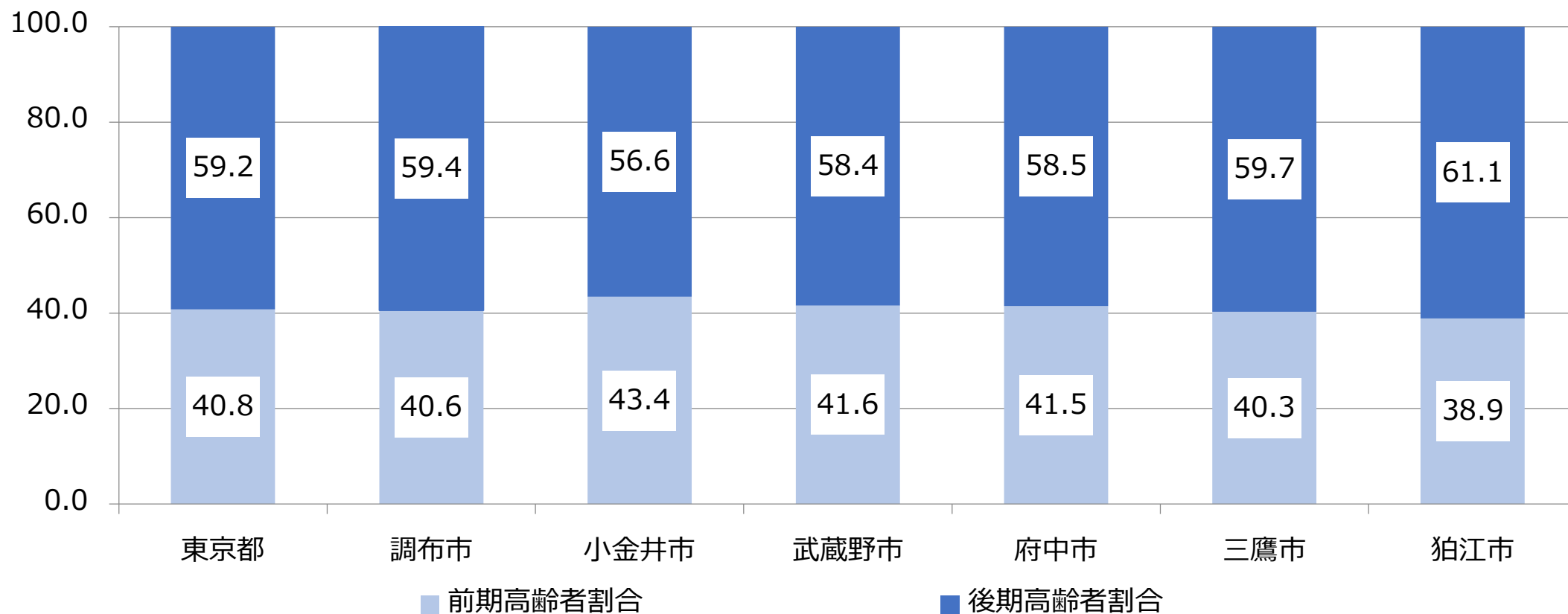
直近の高齢化率は22.1%であり、高齢者人口は増加傾向にあります。
ただし、後期高齢者は増加する一方で、令和3年以降、前期高齢者は減少傾向にあります。



※調布市住民基本台帳 各年10月1日時点

前期高齢者・後期高齢者の割合(近隣市との比較)

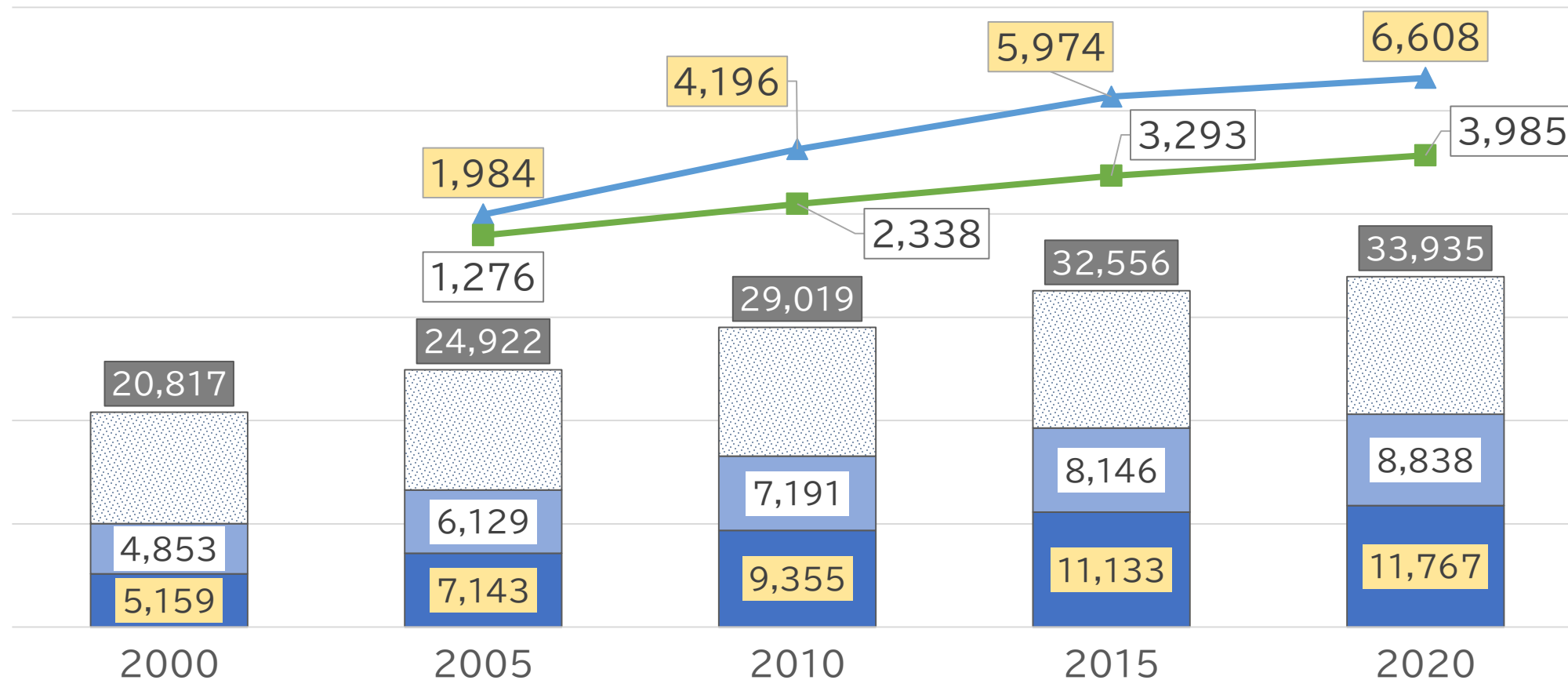
前期高齢者(65～74歳)と後期高齢者(75歳以上)の割合を見ると、東京都平均と同程度となっています。後期高齢者の割合は、近隣市の中でも比較的高くなっています。



(時点) 令和7年(2025年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

高齢者世帯の推移



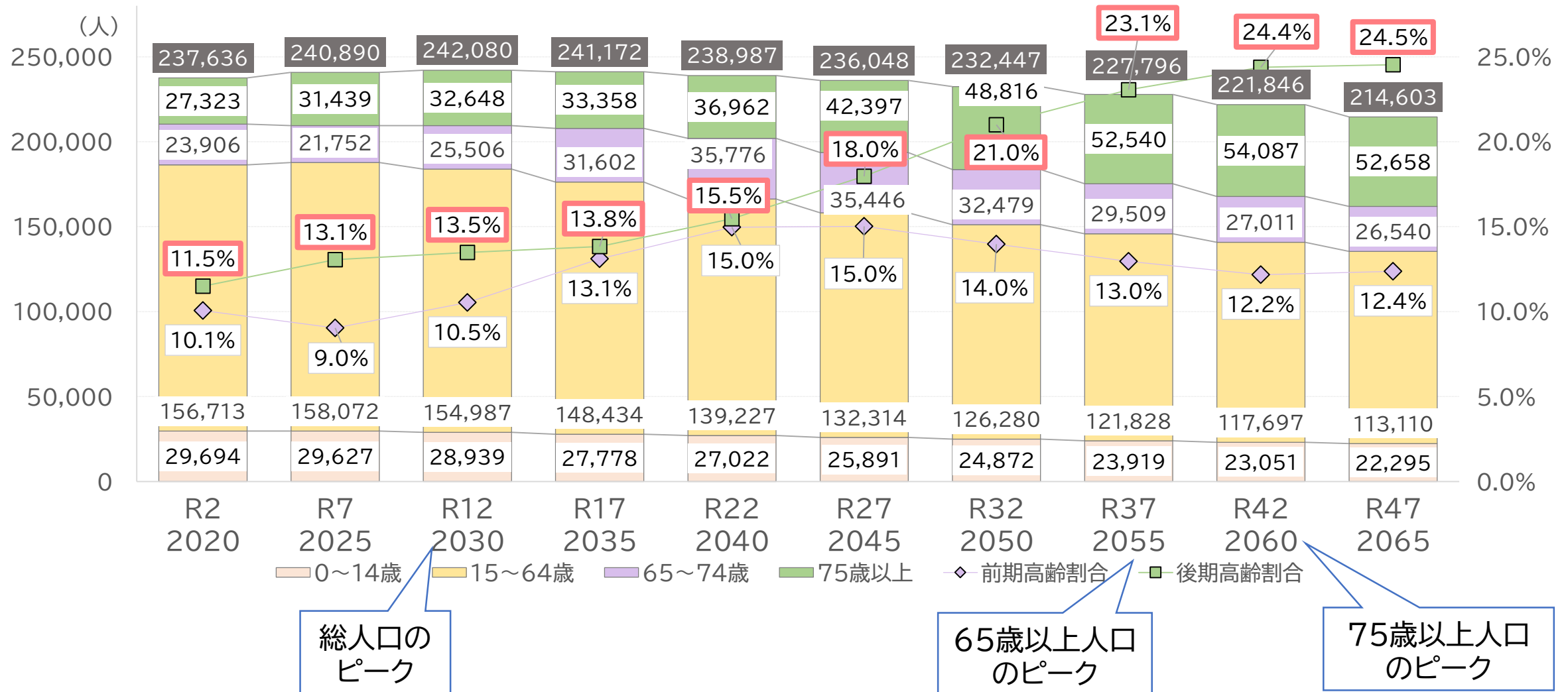
- 高齢独居世帯数 (世帯)
- ▨ その他高齢者を含む世帯 (世帯)
- 対2000年増加数_高齢夫婦世帯 (世帯)

- 高齢夫婦世帯数 (世帯)
- ▲ 対2000年増加数_独居世帯 (世帯)

注: 高齢夫婦世帯は、世帯員が夫婦のみの世帯のうち、夫および妻の年齢が65歳以上の世帯を意味します。
 地域包括ケア「見える化」システムより編集 (出典)総務省「国勢調査」

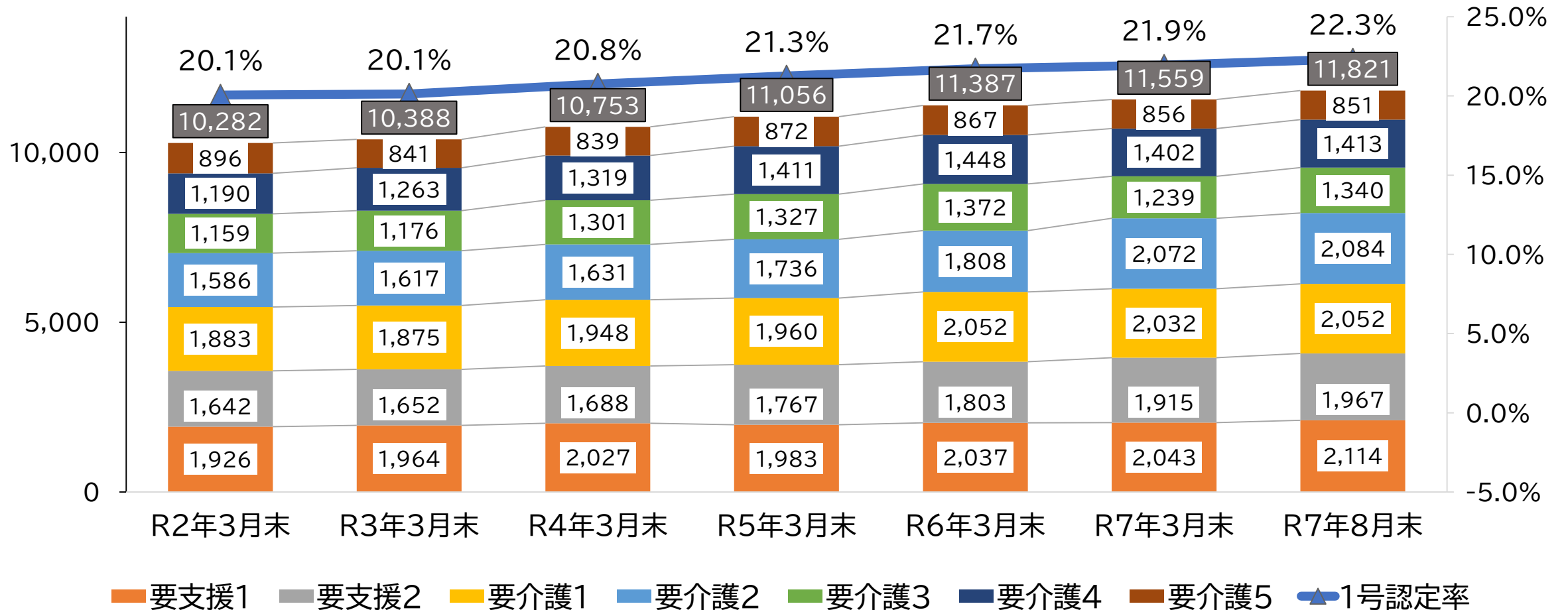
調布市 将来推計人口（2020年～2065年）

調布市の人口は、令和12年(2030)頃をピークに減少する見込みです。一方、65歳以上人口は令和37年(2055)頃まで、75歳以上人口は令和42年(2060)頃まで増加する見込みです。



65歳以上の認定者数・認定率の推移

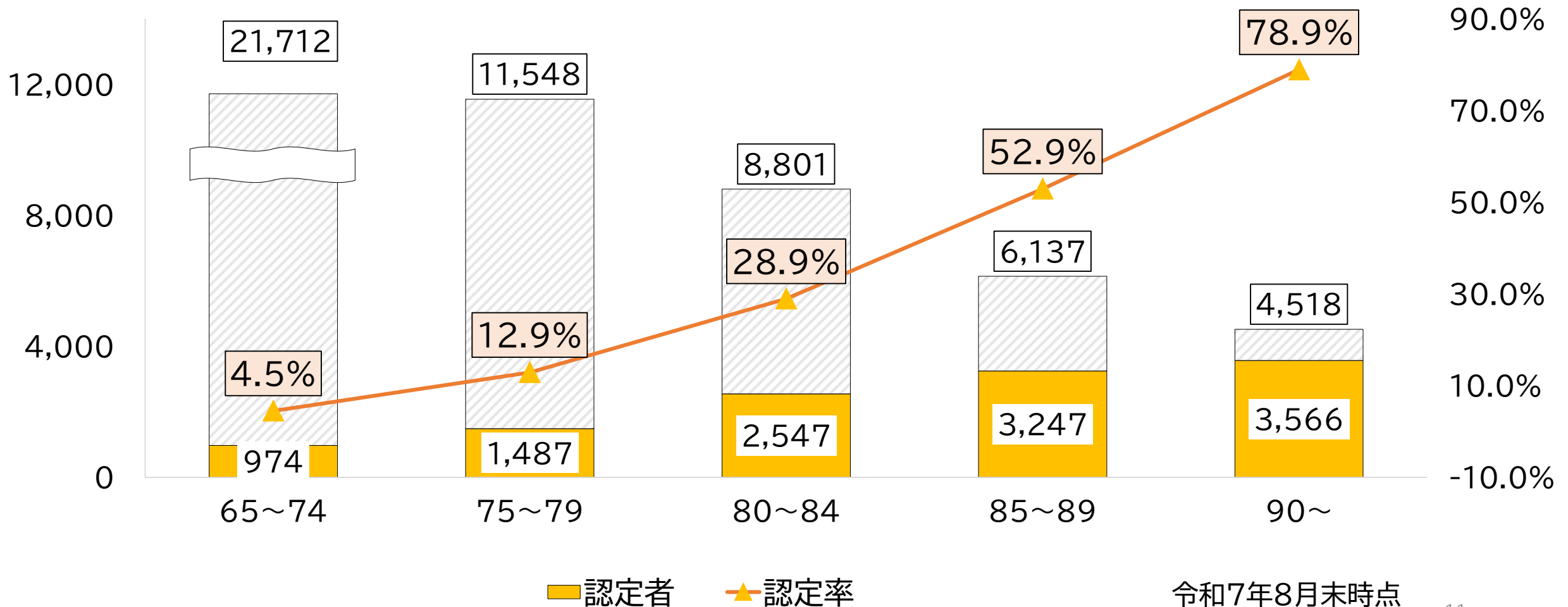
調布市の65歳以上の認定者数は、令和7年4月現在で1万1500人を超えています。
認定も年々増加しており、令和7年8月末時点で22.3%となっています。



※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6・7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

認定者数の割合(年齢別と認定率)

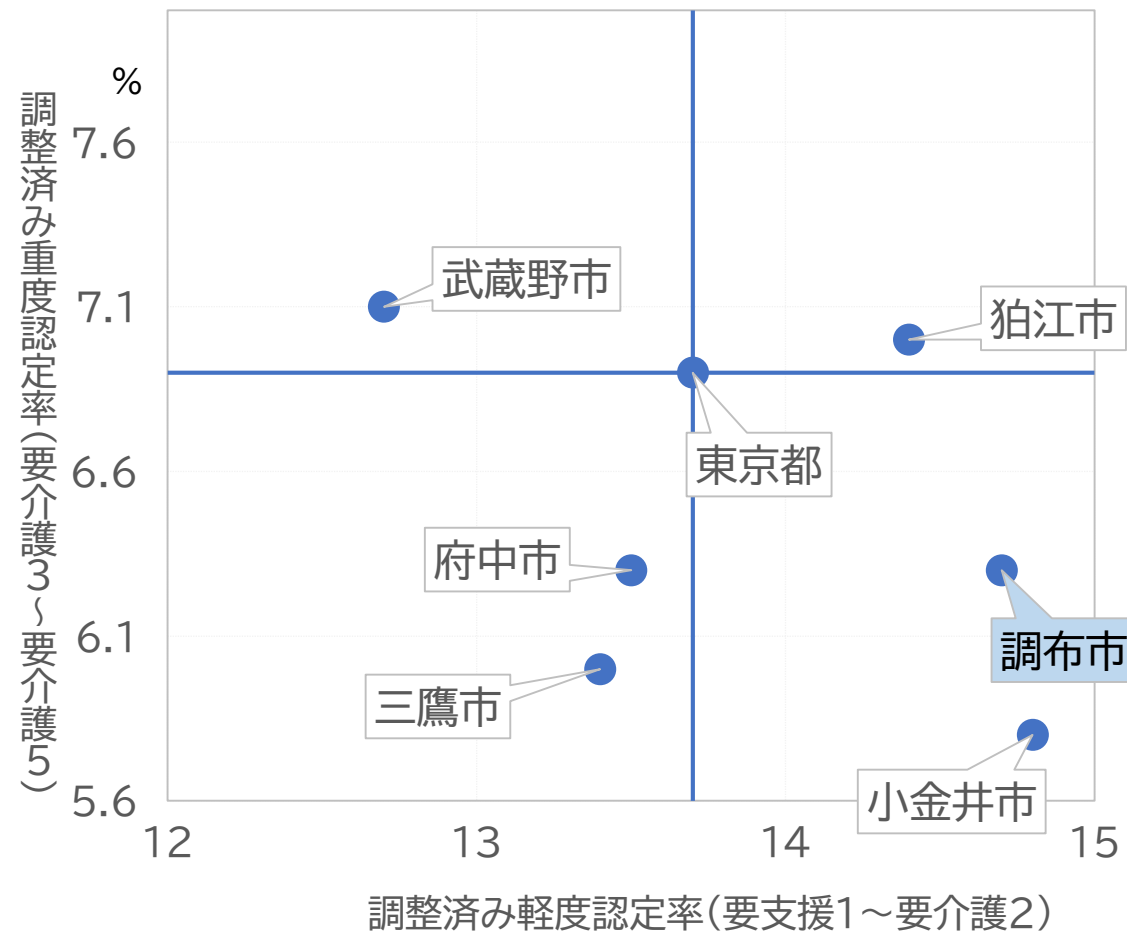
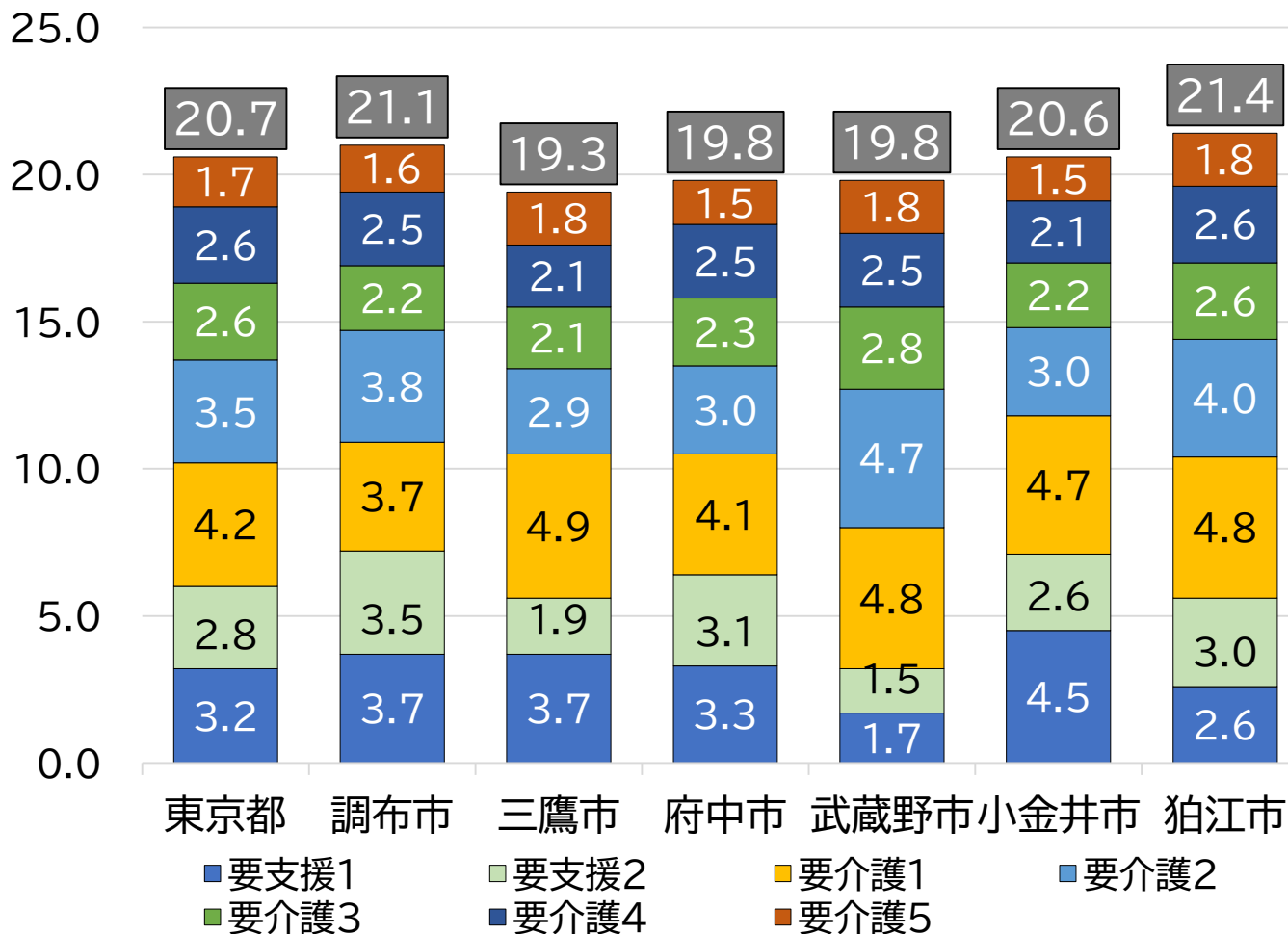
認定者を年齢別に見ると、80歳を超えると認定率が大きく伸び、85歳を超えると2人に1人が認定を受けています。



調整済み認定率の地域差

認定率は、東京都平均や近隣市と比較して高くなっています。

東京都平均と比較すると、要支援1～要支援2、要介護2の認定率が高くなっています。



※調整済み認定率:第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるように調整することで地域間の比較がしやすいように調整した数値です。

※時点:令和6年

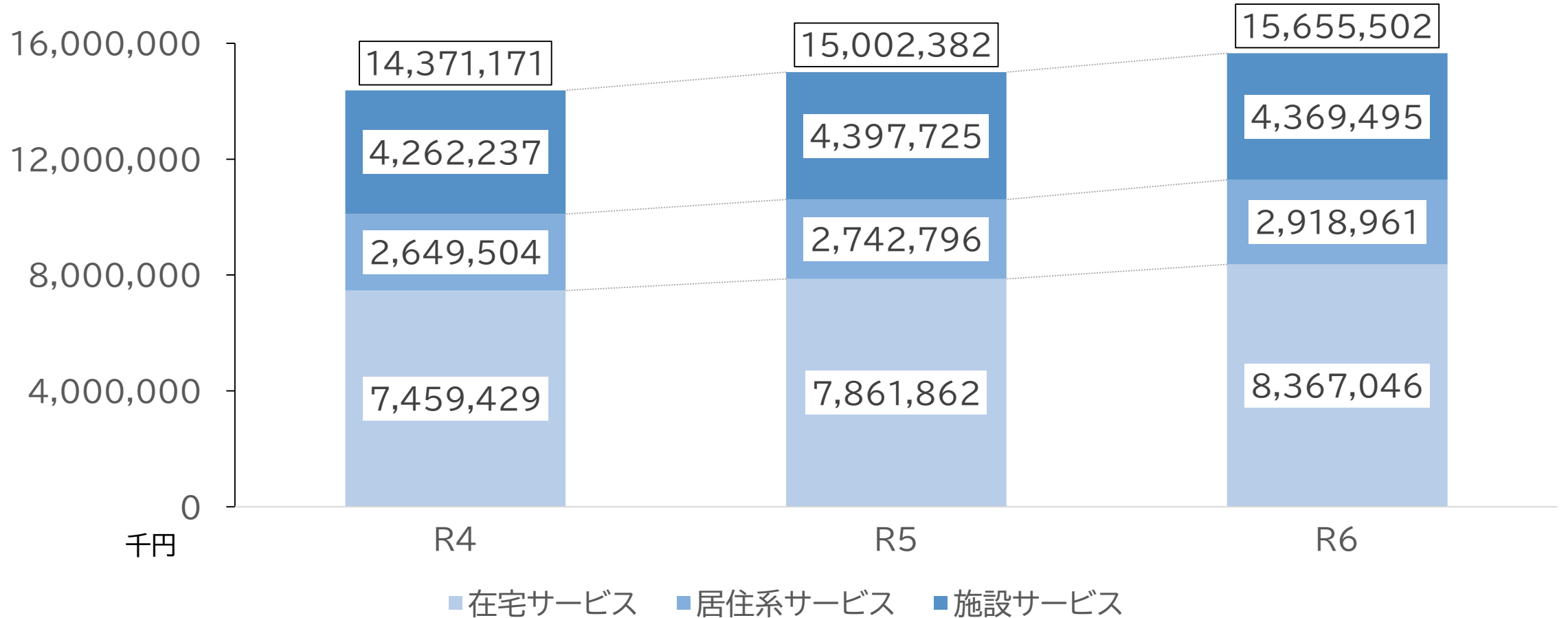
※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

2. 令和4年から令和6年までの 介護保険給付費の状況

- ◆ 令和4～5年(第8期), 令和6年(第9期)における計画値との比較
- ◆ 主な施設・居住系サービスの給付費実績
- ◆ 主な在宅サービス費の給付費実績
- ◆ 主な在宅サービス(地域密着型サービス)の給付費実績

令和4年～令和6年の給付費実績

直近3年間も給付費は増加で推移しており、令和6年度には156.5億円余となっています。
サービス別にみると、在宅サービスと居住系サービスの費用の伸びが大きくなっています。



在宅サービス:訪問介護, 訪問看護, デイサービスなど
居住系サービス:特定施設入居者生活介護, グループホーム
施設サービス:介護老人福祉施設, 介護老人保健施設など

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」
年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

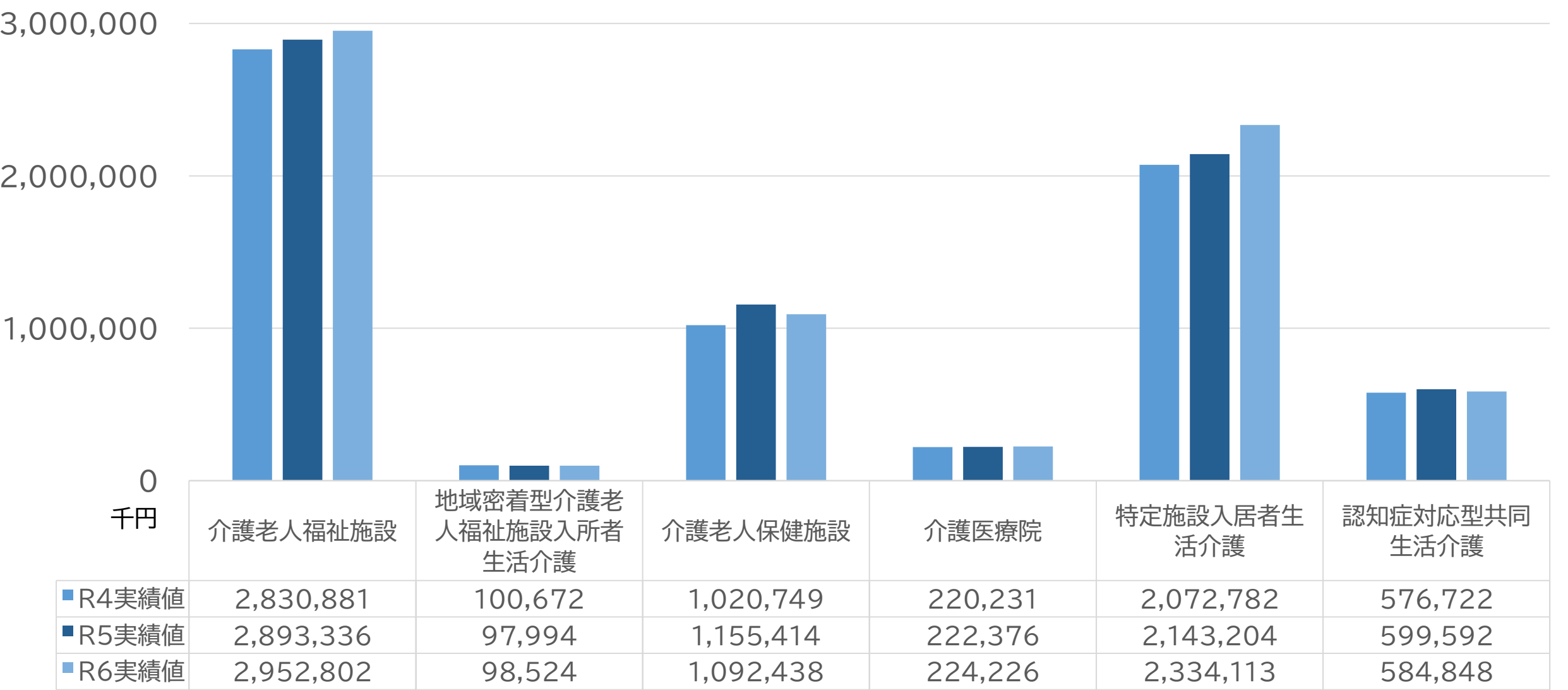
直近3年間における計画値との比較

単位:千円

		施設サービス	居住系サービス	在宅サービス	合計
R4	計画値	4,717,524	2,891,351	8,142,464	15,751,339
	実績値	4,262,237	2,649,504	7,459,429	14,371,171
	対計画比	90.3%	91.6%	91.6%	91.2%
R5	計画値	4,824,629	2,963,247	8,739,580	16,527,456
	実績値	4,397,725	2,742,796	7,861,862	15,002,382
	対計画比	91.2%	92.6%	90.0%	90.8%
R6	計画値	4,574,385	2,802,275	8,593,584	15,970,244
	実績値	4,369,495	2,918,961	8,367,046	15,655,502
	対計画比	95.5%	104.2%	97.3%	98.0%

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

主な施設・居住系サービスの給付費実績



※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

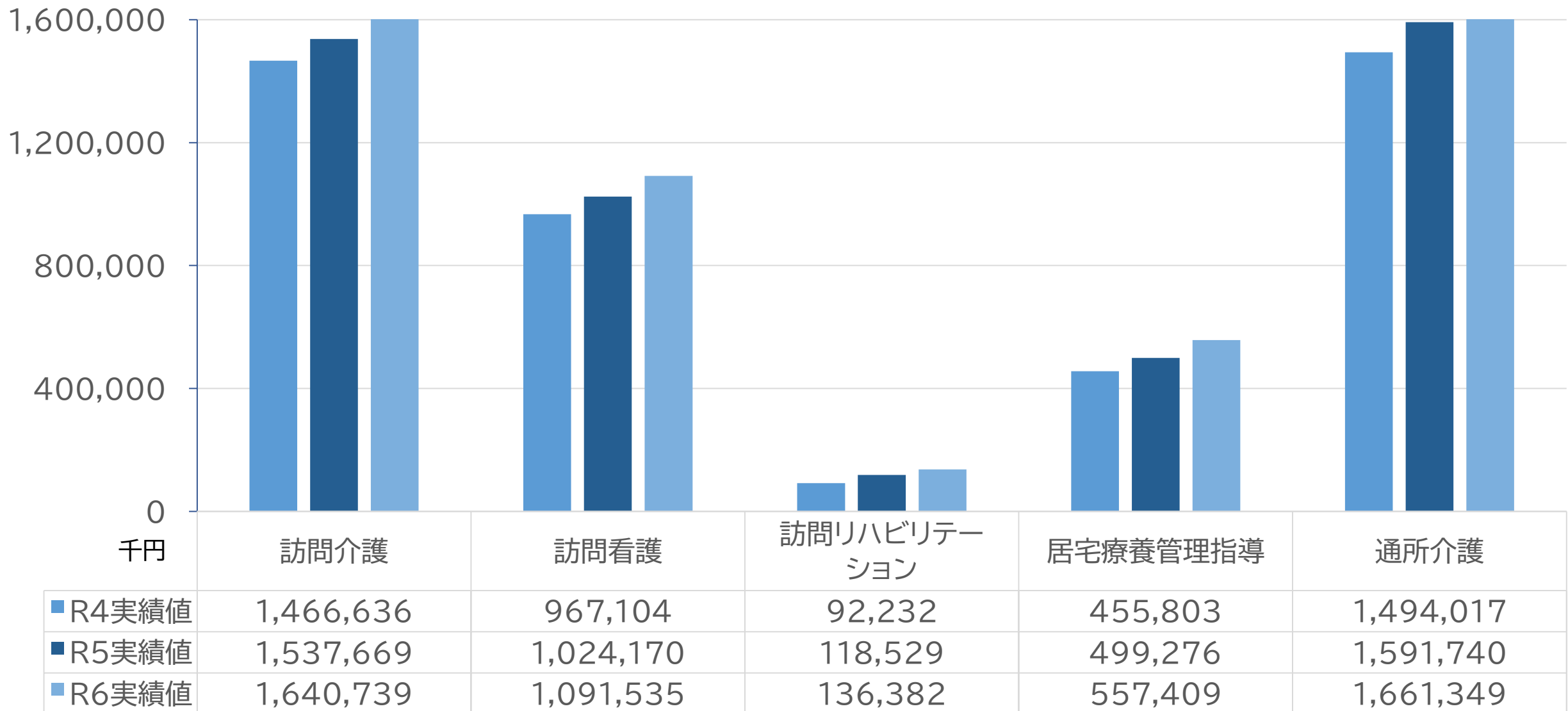
主な施設・居住系サービス 計画値との比較

単位:千円

		介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	介護老人保健施設	介護医療院	特定施設入居者生活介護	認知症対応型 共同生活介護
R4	計画値	3,074,774	99,050	1,052,059	372,302	2,273,121	618,230
	実績値	2,830,881	100,672	1,020,749	220,231	2,072,782	576,722
	対計画比	92.1%	101.6%	97.0%	59.2%	91.2%	93.3%
R5	計画値	3,175,462	99,050	1,052,059	498,058	2,345,017	618,230
	実績値	2,893,336	97,994	1,155,414	222,376	2,143,204	599,592
	対計画比	91.1%	98.9%	109.8%	44.6%	91.4%	97.0%
R6	計画値	3,018,570	101,881	1,168,963	284,971	2,206,346	595,929
	実績値	2,952,802	98,524	1,092,438	224,226	2,334,113	584,848
	対計画比	97.8%	96.7%	93.5%	78.7%	105.8%	98.1%

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

主な在宅サービスの給付費実績①



※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)) 18

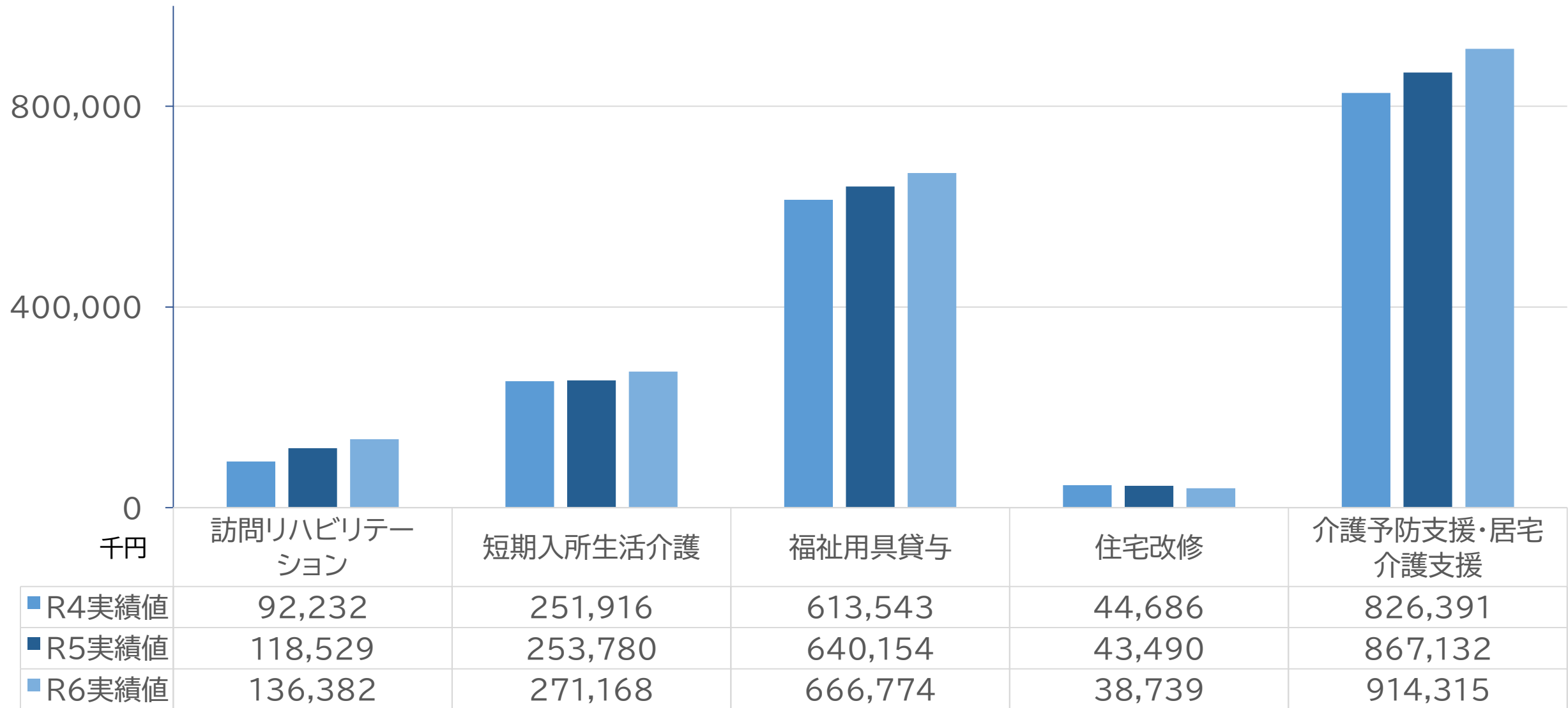
主な在宅サービス① 計画値との比較

単位:千円

		訪問介護	訪問看護	訪問リハビリ テーション	居宅療養管理指導	通所介護
R4	計画値	1,507,279	950,408	98,431	444,973	1,703,542
	実績値	1,466,636	967,104	92,232	455,803	1,494,017
	対計画比	97.3%	101.8%	93.7%	102.4%	87.7%
R5	計画値	1,603,263	1,019,463	101,162	460,481	1,831,943
	実績値	1,537,669	1,024,170	118,529	499,276	1,591,740
	対計画比	95.9%	100.5%	117.2%	108.4%	86.9%
R6	計画値	1,572,195	1,135,396	115,576	521,698	1,718,420
	実績値	1,640,739	1,091,535	136,382	557,409	1,661,349
	対計画比	104.3%	96.1%	118.0%	106.8%	96.7%

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

主な在宅サービスの給付費実績②



※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

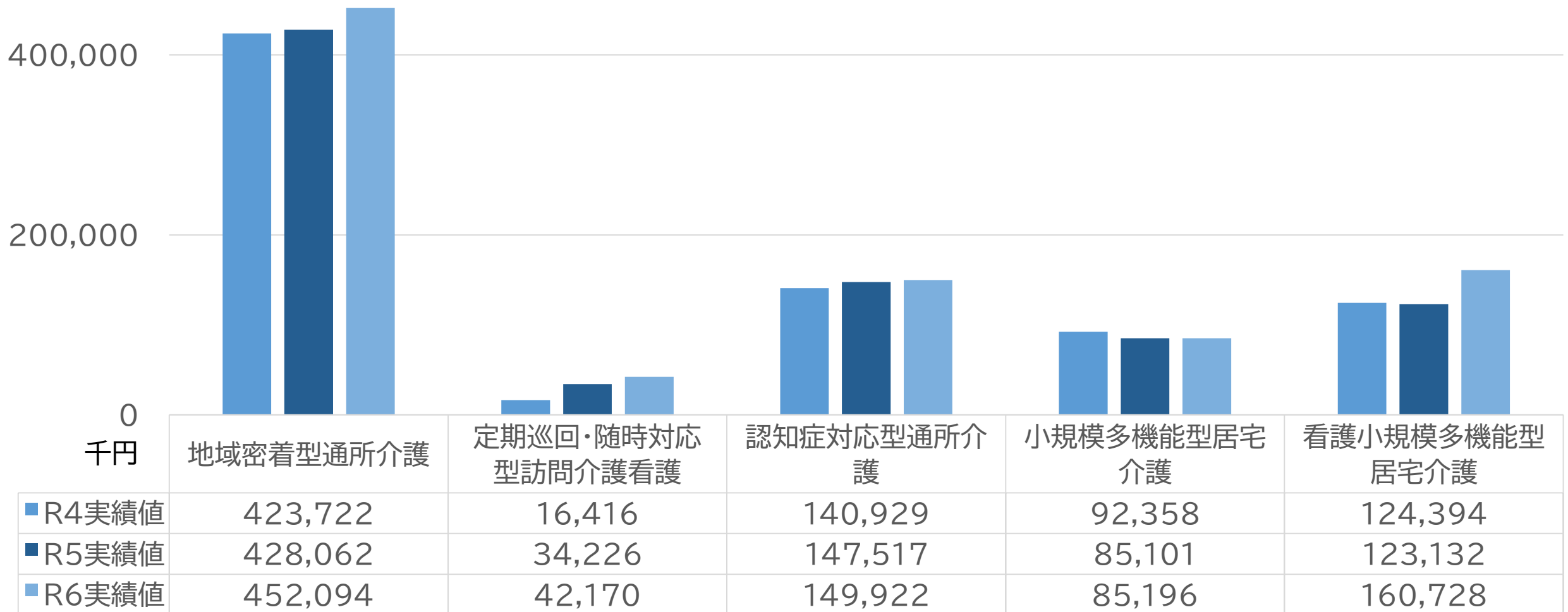
主な在宅サービス② 計画値との比較

単位:千円

		通所リハビリテーション	短期入所生活介護	福祉用具貸与	住宅改修	介護予防支援・居宅介護支援
R4	計画値	375,195	390,227	549,925	39,738	764,776
	実績値	279,810	251,916	613,543	44,686	826,391
	対計画比	74.6%	64.6%	111.6%	112.5%	108.1%
R5	計画値	390,899	405,517	571,459	41,659	794,596
	実績値	293,140	253,780	640,154	43,490	867,132
	対計画比	75.0%	62.6%	112.0%	104.4%	109.1%
R6	計画値	295,094	257,196	700,268	50,278	938,142
	実績値	316,508	271,168	666,774	38,739	914,315
	対計画比	107.3%	105.4%	95.2%	77.0%	97.5%

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

主な在宅サービス(地域密着型サービス)の給付費実績



※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

主な在宅サービス(地域密着型サービス) 計画値との比較

単位:千円

		地域密着型 通所介護	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	認知症対応型 通所介護	小規模多機能型 居宅介護	看護小規模 多機能型居宅介護
R4	計画値	545,850	44,168	205,827	79,045	236,066
	実績値	423,722	16,416	140,929	92,358	124,394
	対計画比	77.6%	37.2%	68.5%	116.8%	52.7%
R5	計画値	582,331	87,929	237,822	158,091	236,066
	実績値	428,062	34,226	147,517	85,101	123,132
	対計画比	73.5%	38.9%	62.0%	53.8%	52.2%
R6	計画値	477,475	56,767	179,208	128,864	256,864
	実績値	452,094	42,170	149,922	85,196	160,728
	対計画比	94.7%	74.3%	83.7%	66.1%	62.6%

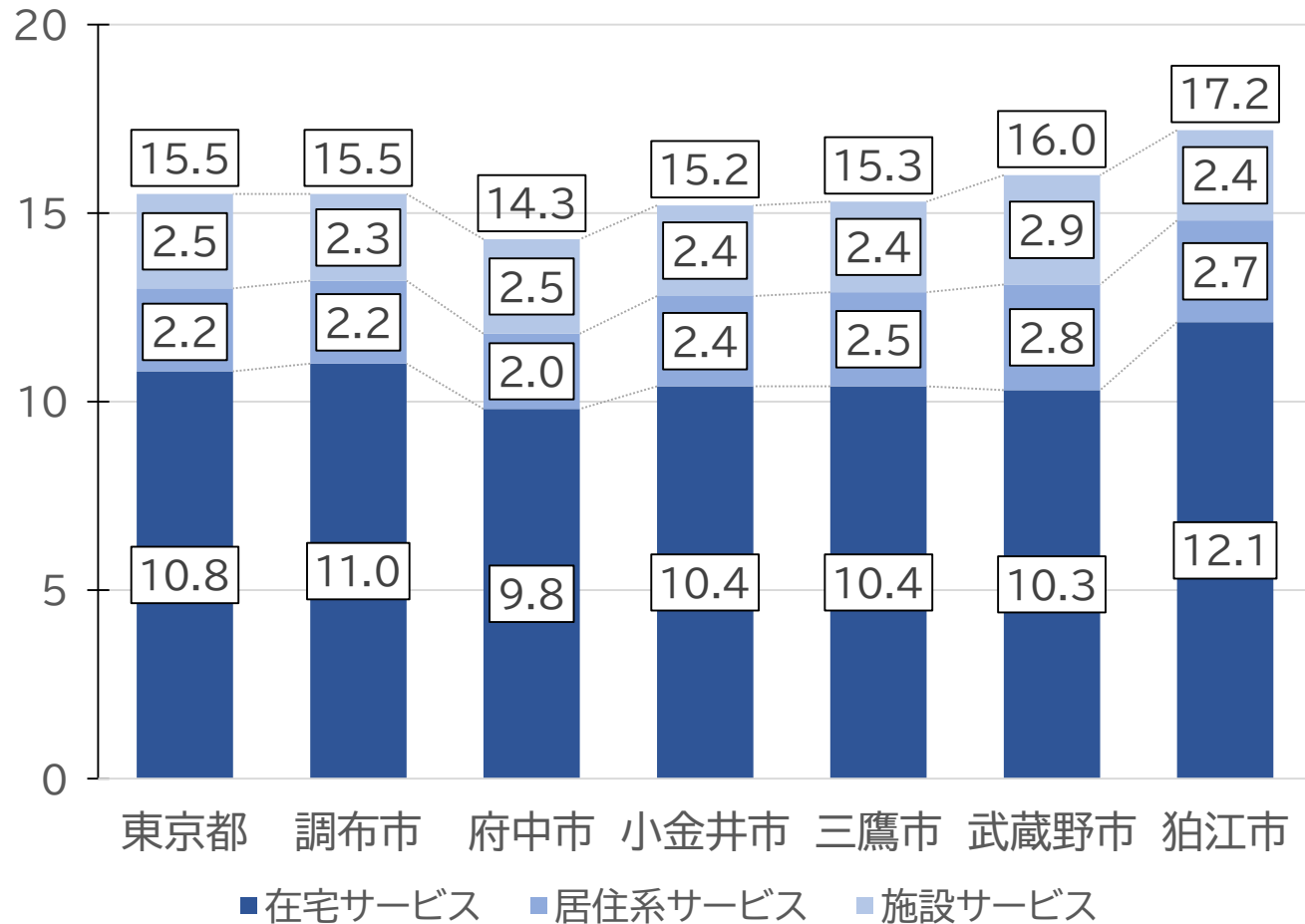
※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報))

3. 介護給付費から見る 調布市の特徴・傾向

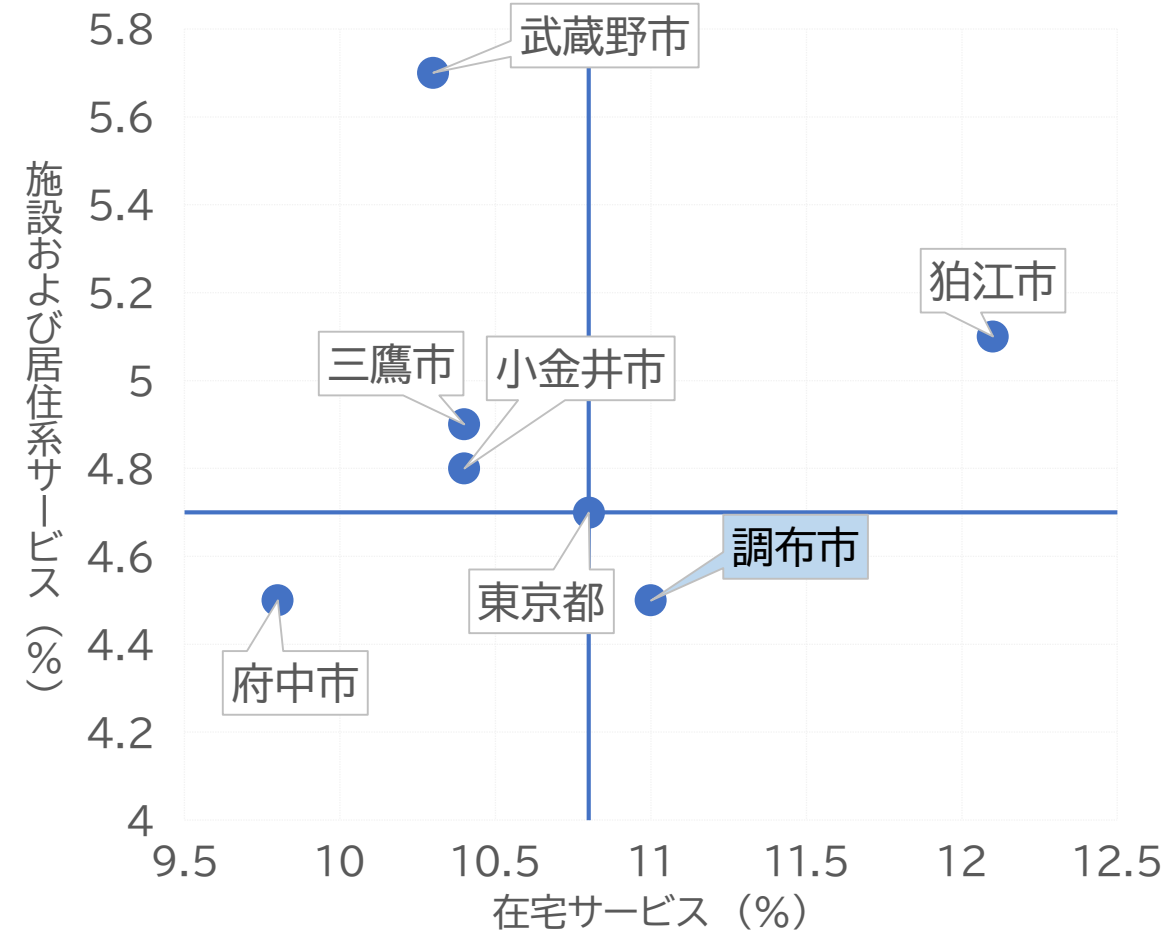
- ◆ 受給者1人当たりの給付月額の地域差
- ◆ サービス別受給率の地域差
- ◆ 介護保険サービスの利用率(利用者/認定者)

サービス別受給率の地域差

在宅・居住系・施設サービスの受給率を見ると、調布市は東京都平均とほぼ同様となっています。



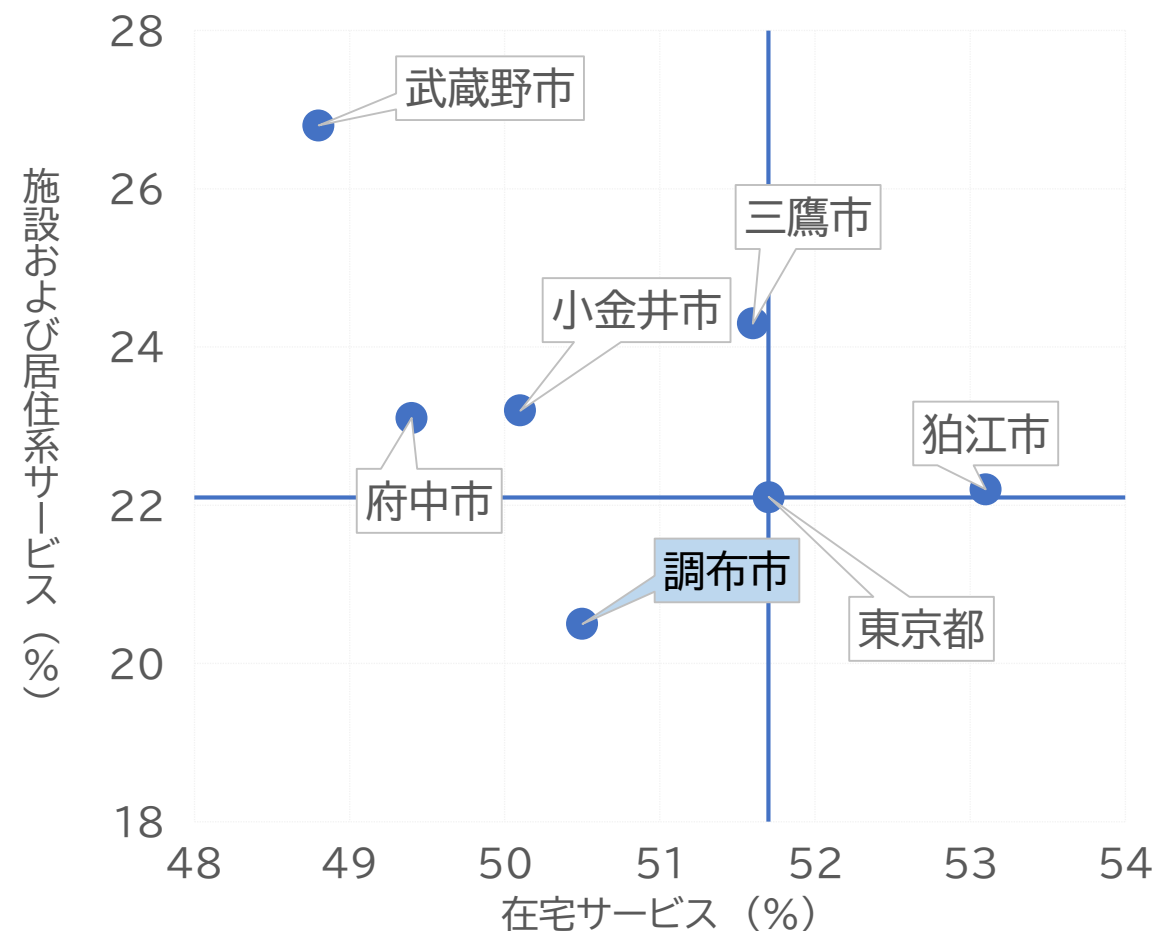
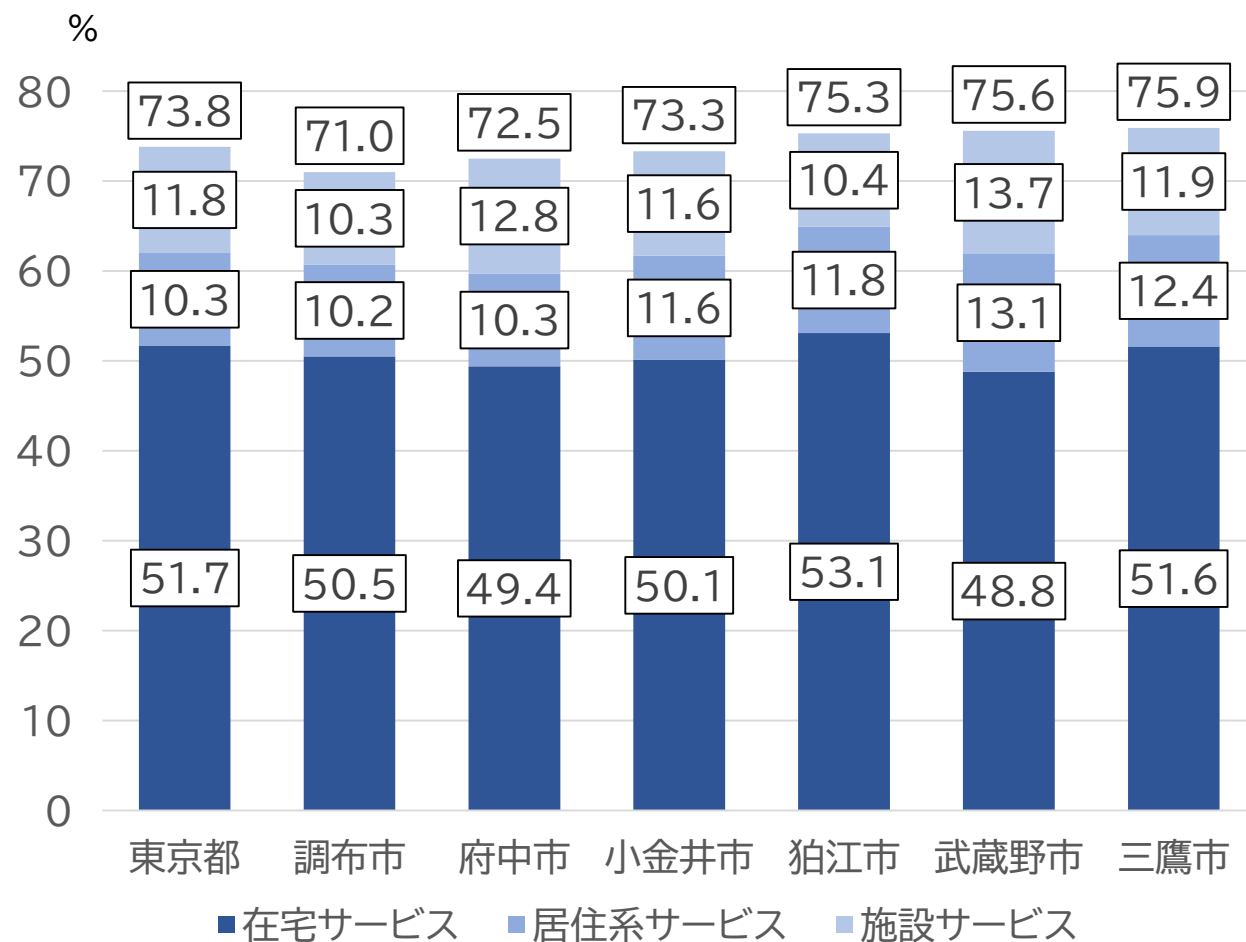
在宅サービス: 訪問介護, 訪問看護, デイサービスなど
 居住系サービス: 特定施設入居者生活介護, グループホーム
 施設サービス: 介護老人福祉施設, 介護老人保健施設など



※受給率: 各サービス受給者数を65歳以上の第1号被保険者数で除した値
 ※時点: 令和6年
 ※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報))

介護保険サービスの利用率(利用者/認定者)

要介護(要支援)認定者の介護保険サービスの利用率をみると、東京都平均や近隣市を下回っています。

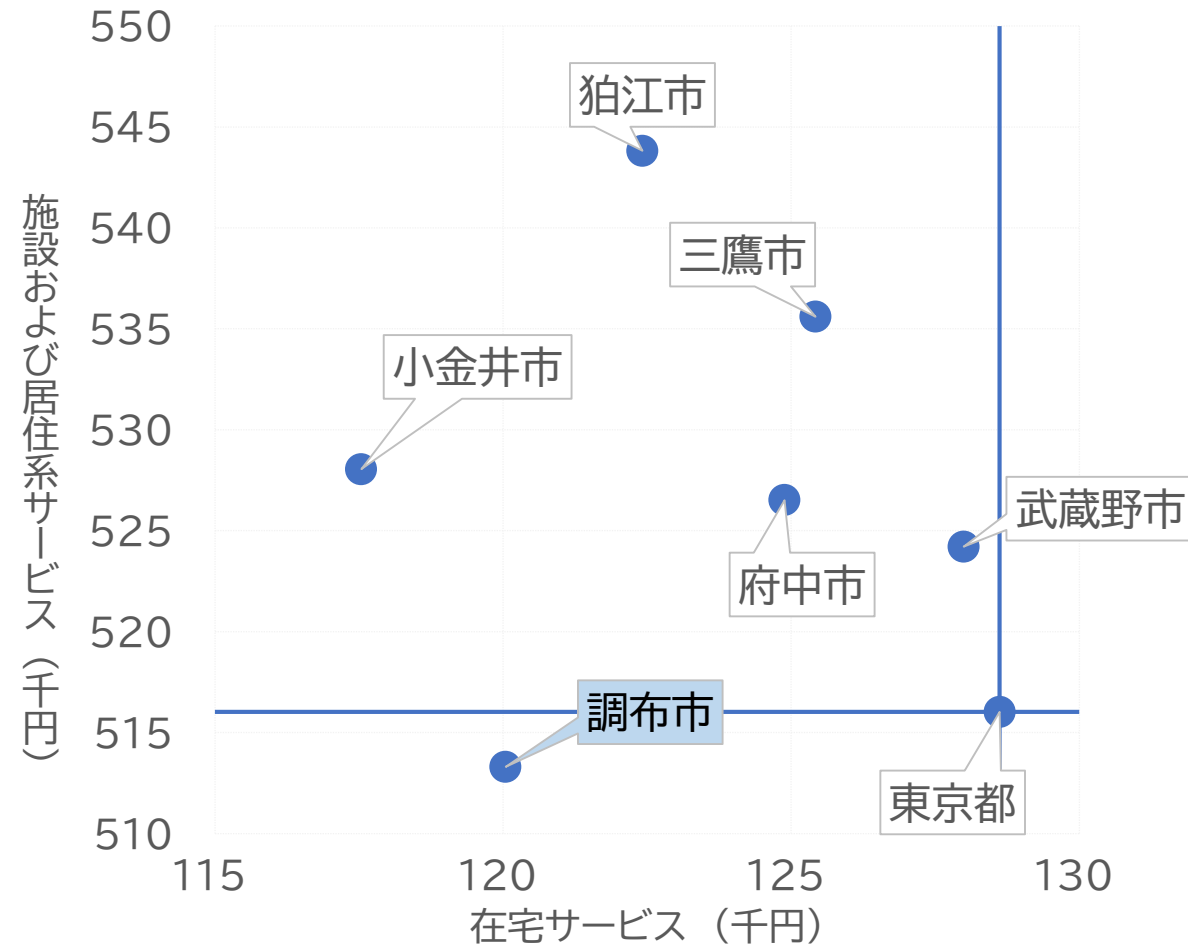
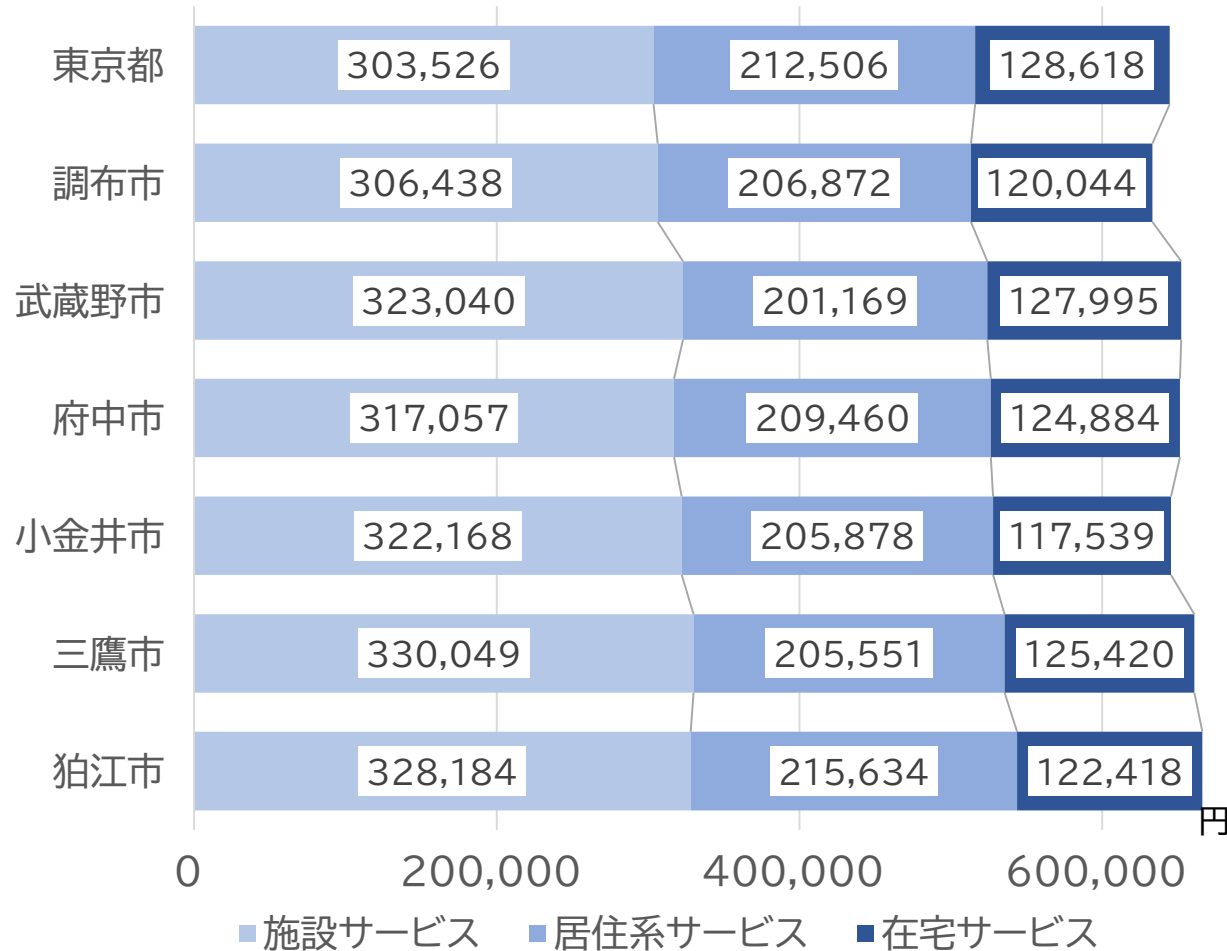


在宅サービス:訪問介護, 訪問看護, デイサービスなど
 居住系サービス:特定施設入居者生活介護, グループホーム
 施設サービス:介護老人福祉施設, 介護老人保健施設など

※サービス利用率:各サービス利用者数を65歳以上の第1号認定者数で除した値
 ※時点:令和6年
 ※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報))

受給者1人あたり給付月額の地域差

受給者1人あたりの給付月額をみると、在宅サービスと施設および居住系サービスともに東京都平均を下回っています。



※時点:令和6年

※地域包括ケア「見える化」システム(厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報))

介護保険事業計画について

議題2 持続可能な介護保険制度の運営について

目次

議題1 調布市の現状

1. 調布市の高齢者の状況
2. 令和4年から令和6年までの介護保険給付費の状況
3. 介護給付費から見る調布市の特徴・傾向

議題2 持続可能な介護保険制度の運営について

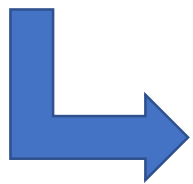
4. サービスの基盤整備
5. 給付の適正化に向けた取組
6. サービスの安定供給と質の向上

4. サービスの基盤整備

◆ 地域密着型サービスの整備

地域密着型サービスとは

高齢者が要介護状態となっても、住み慣れた地域で可能な限り生活し続けられる社会を目指すという意義に基づき、創設されたサービスである。



- ・ 調布市においても、基盤整備の着実な推進に努めることが必要
- ・ 地域密着サービスの基盤整備に伴う介護保険料への影響について考慮しつつ検討

第9期に係る地域密着型サービス整備計画・状況

令和6年度 看護小規模多機能型居宅介護 1事業所 (整備済み)
夜間対応型訪問介護 1事業所 (整備済み)

令和7年度 小規模多機能型居宅介護 1事業所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所
認知症対応型共同生活介護 1事業所

令和8年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所

令和9年度 認知症対応型共同生活介護 1事業所
小規模多機能型居宅介護 1事業所
看護小規模多機能型居宅介護 1事業所

応募なし

令和8年度分第1回公募

令和7年11月1日～
市HPで公募情報を公開

認知症対応型共同生活介護
1事業所(令和8年度又は令和9年度開設)

小規模多機能型居宅介護
1事業所(令和8年度又は令和9年度開設)

看護小規模多機能型居宅介護
1事業所(令和9年度開設)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2事業所(令和8年度開設)

地域密着型サービス基盤整備の見込み

【地域密着型サービス基盤整備の見込み】（）内は定員数

調布市全体	施設数等 (令和6年2月末)	第9期			第10期
		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
認知症対応型 共同生活介護	11 か所 (189 人)	-	1 か所 (27 人)	-	1 か所 (18 人)
小規模多機能型 居宅介護	1 か所 (29 人)	-	1 か所 (29 人)	-	1 か所 (29 人)
夜間対応型 訪問介護	なし	1 か所 (整備済み)	-	-	-
定期巡回・随時対 応型訪問介護看護	2 か所	-	1 か所	1 か所	-
看護小規模多機 能型居宅介護	1 か所 (29 人)	1 か所 (29 人)	-	-	1 か所 (29 人)

(整備済み)

第9期調布市高齢者総合計画より抜粋

5. 給付の適正化に向けた取組について

- ◆ ケアプラン等の適正化
- ◆ 縦覧点検・医療情報突合
- ◆ 運営指導・集団指導等

ケアプラン等の適正化

【目標】

- ・自立支援に資するケアプランの考え方をケアマネジャーと共有, ・主任ケアマネとケアマネジャーの連携強化など(ケアプラン点検)
- ・利用者の身体状況等を踏まえた適切なサービス利用の促進・啓発(住宅改修, 福祉用具)

年度	ケアプラン点検件数
令和4	14件(12事業所)
令和5	10件(10事業所)
令和6	9件(9事業所)

【実施方法】

- ・主任ケアマネとケアマネでケアプランを検証・確認, 気づきの視点・地域課題を共有(ケアプラン点検)
- ・書面点検, 現地確認, 研修会の実施, 給付実績情報等による適正化推進(住宅改修, 福祉用具)

年度	住宅改修／福祉用具 点検件数
令和4	0件／0件
令和5	0件／1件
令和6	2件／1件

縦覧点検・医療情報突合

【目標】

報酬請求が誤っている可能性のある事業所に対し、適正な介護報酬算定を促す

【実施内容】

介護報酬の支払状況について、医療情報や各種基準等と突合し、事業者への照会・確認、過誤請求等の依頼を実施

【実施方法】

介護報酬の支払状況について、医療情報や各種基準等と突合し、事業者への照会・確認、過誤請求等の依頼を実施

年度	医療情報確認件数
令和4	204件
令和5	127件
令和6	159件

その他帳票(一例)

- ・算定期間回数制限縦覧チェック
- ・重複請求縦覧チェック
- ・要介護認定有効期間の半数を超える短期入所
- ・入退所を繰り返す受給者縦覧
- ・居宅介護支援請求におけるサービス実施状況
- ・居宅介護支援再請求等状況
- ・月途中要介護状態変更受給者

運営指導・集団指導等

【方針】

法令・基準等を遵守し, 利用者の自立支援・尊厳のため, 利用者の処遇やサービスの質の向上, 適正な報酬請求の観点から, 健全な事業者育成・支援に主眼を置いて実施

【実施内容・方法】

・運営指導

事業所を訪問し, 運営・サービスの状況を確認, 改善指示・助言等を実施

・集団指導

オンラインや対面等による集団指導

・給付解釈・問い合わせ等

年度	運営指導
令和4	5件
令和5	11件
令和6	11件

年度	集団指導
令和4	1回
令和5	1回
令和6	1回

6. サービスの安定供給と質の向上について

- ◆ 介護支援専門員調布連絡協議会,
介護保険サービス事業者調布連絡協議会への支援
- ◆ 介護人材確保, サービスの質の向上
- ◆ 介護現場の生産性向上に向けた支援
- ◆ 事業者アンケート

介護支援専門員調布連絡協議会, 介護保険サービス事業者調布連絡協議会への支援

介護支援専門員調布連絡協議会

【会員】

市内で事業活動するケアマネジャー等

【会員数】

228人(R7.3時点)

【主な活動内容(R6)】

講演会1回, 研修会4回, 勉強会2回

介護保険サービス事業者調布連絡協議会

【会員】

市内で事業活動する介護サービス事業者等

【会員数】

76事業所(R7.5時点)

【主な活動内容(R6)】

講演会1回, 研修会4回, 定例会2回

介護保険等推進活動補助金

- ・会の運営, 研修会の開催等に要する費用(報償費(講師謝礼), 通信費運搬費, 印刷製本費, 事務局人件費等)へ補助

定期連絡会の実施

- ・ケアマネ会, 年2回
- ・意見交換を行い, 双方の現状理解・要望把握・事前調整等に活用

研修会等の支援

- ・活動場所の確保, 市職員の講師派遣等
- ・現場の従業者等と積極的に交流し情報交換

介護人材確保, サービスの質の向上

介護職員研修受講費等補助金

【内容】

市内事業所に従事する介護職員が受講した研修・取得した資格に要した費用を補助

【補助額】

介護職員初任者研修	8万円
介護福祉士実務者研修	10万円
介護福祉士資格	10万円

【事業開始】

令和7年8月

外国人介護人材定着支援事業(日本語教室)

【内容】

市内で介護の仕事をしている・始めたい外国人を対象に, 介護の仕事に役立つ日本語やコミュニケーション, 報告方法等を学ぶ

【クラス等】

初中級クラス(日本語能力試験N4以上)
2日間・各10人定員(満員)
上級クラス(日本語能力試験N3以上)
3日間・各10人定員(満員)

【講師派遣先】

公益社団法人国際厚生事業団(JICWELS)

介護人材確保, サービスの質の向上

「外国人向け介護の仕事で使う日本語教室」 初中級クラスの内容

① 文化理解

「ほう・れん・そう（報連相）」 ➡ どんな時に必要？

「身だしなみ」 ➡ こんな介護士がいたら, 利用者さんはどんな気持ち？
自分自身で気を付けていることは？

② 介護の基本

食事介助 ・ 着脱介助

└ 気を付けることは？脱健着患, 声のかけ方

③ 文型練習

「～終わる(していることが終わる)」 ※よく使う動詞と使わない動詞

「～にする(いくつかの中から1つに決める)」 「なかなか～ない(簡単に～できない, ～するのに時間がかかる)」

「～がち(よく～してしまう/よく～の状態になってしまう)」 「～たびに(～するとき, いつも)」

④ 会話練習 …議題をもとに介護士と利用者の会話を考えて作る

参加者アンケート結果

今回の教室について
全員が
「**とても良かった**」と回答

「介護の仕事をするために
必要なサポートは？」
⇒「日本語/介護の勉強(サポート)」
との回答が多数

市の主な取組

●介護事業者等支援事業・・・介護職員などのスキルの底上げや事業所の定着支援につなげる

研修名	講師・委託先	内容	実施日	参加者数
モチベーションを130%にすることができる研修(全2回)	メディカル・ケア・サービス株式会社 コーポレートコミュニケーション部長 杉本 浩司氏	モチベーションの向上を図るための秘訣についてお話いただき、グループワークを通して参加者同士で意見交換等ができる場を提供	令和7年5月14日 令和7年6月11日	24名 (2日間合計)
VR認知症体験研修	株式会社シルバーウッド	VRを用いて実際に自分自身のこととして体験することで、認知症に対する更なる理解を深める	令和7年8月21日	47名
ボディメカニクスを利用して腰痛を予防する介助技術研修	(公財)介護労働安定センター (講師:岩見 俊哉氏)	実際に車いすやベッドを使用し、介助者に負担の少ない方法と効果的な介助方法を学ぶとともに、利用者の身体や特徴に合わせた介助方法等を学ぶ	令和7年7月18日	24名
緊急時の介護 -とっさの症例判断と対応-	(公財)介護労働安定センター (講師:橋村 あゆみ氏)	異常の早期発見や緊急時の対応として、利用者の症状から何を準備するのか何を伝えなければならないかなど、緊急対応時の基本的な備えや対応について学ぶ	令和7年9月11日	34名
身体拘束排除の取り組み -事例の理解-	(公財)介護労働安定センター (講師:伊藤 亜記氏)	身体拘束の事例を通して、個人の尊厳と自立に関する深い理解を得る	令和7年12月4日	集計中
高齢者が良く服用する薬の知識 -薬剤師が教える薬の知識-	(公財)介護労働安定センター (講師:東京薬剤師会 石川正敏氏)	介護サービス従事者として必要な“高齢者における薬物療法の特殊性”および“慎重に投与すべき薬物”や“服薬管理”を知り、安全・安心な介護の知識を学ぶ	令和8年1月30日	-
セルフ・ネグレクト高齢者への支援～サービス拒否は本心？～	東京医療保健大学 大学院看護学研究科 教授 岸 恵美子氏	高齢者が起こしやすいセルフ・ネグレクトの原因や陥ってしまった場合の支援方法等について学ぶことで、アセスメント力の向上を図る。	令和8年2月27日	-

●主任介護支援専門員対象研修・・・主任介護支援専門員の資質向上につなげる

今、ケアマネジャーが押さえておきたいこと -地域共生社会の実現を目指して-	株式会社やさしい手 経営企画部顧問 居宅介護支援スーパーバイザー 岡島 潤子氏	介護・医療をめぐる現状を押さえるとともに、主任介護支援専門員が求められる役割と視点を再確認しながら、地域共生社会の実現を目指すために押さえるべきことを学ぶ。	令和7年9月25日	29名
--	---	--	-----------	-----

介護現場の生産性向上に向けた支援

ケアプランデータ連携システム導入促進

【目的】

国が主導する「ケアプランデータ連携システム(※)」の導入促進を図るもの

※事業所間のやりとりをオンラインで完結

し、

経費負担削減や業務効率化・生産性向上が見込めるシステム

【事業内容】

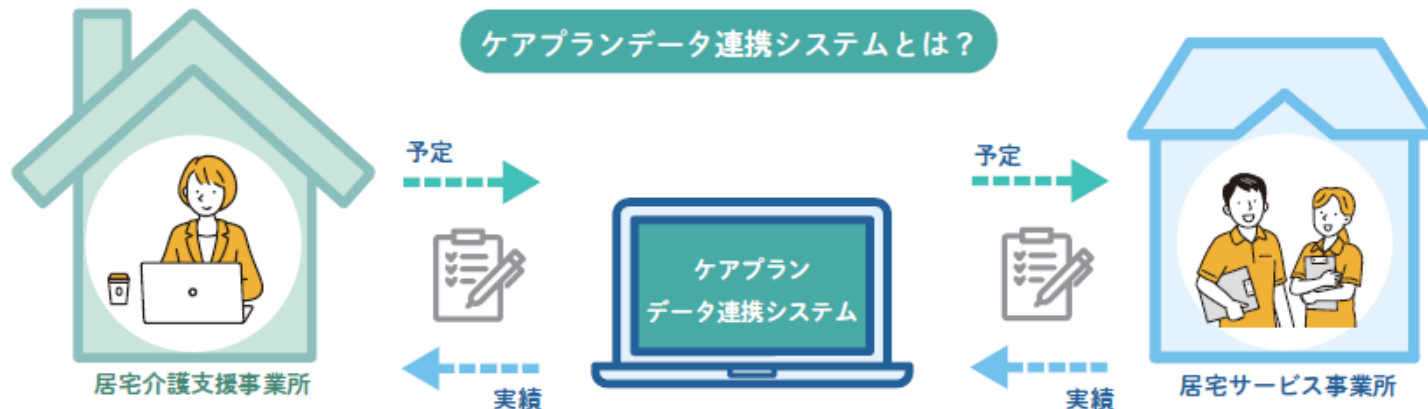
- ・研修会の開催

- 【意義編】【導入編】【運用・操作編】

- ・導入個別相談, 助言(伴走支援)

- ・ICT操作支援ヘルプデスク

- ・座談会(好事例・課題等共有, 把握)



3つのメリット

- ・かんたん
直観的な作業のみで郵送・FAX等の
手間減少で作業効率アップ
- ・あんしん
秘匿性高く, 記載ミス・手戻り減少
- ・さくげん
業務時間や費用対効果も期待

事業者アンケート

調査概要(予定)

【内容】

市内の介護サービス事業所・施設等を対象に、事業運営上の課題や市に期待する支援・施策等を伺い、次期計画や今後の施策に反映させる。

【対象サービス】

全サービス(在宅, 居住, 施設)

【スケジュール】

令和7年度中 調査開始・集計
令和8年3月 結果とりまとめ

主な調査項目(案)

- ・経営状況, 稼働状況
- ・事業運営上の課題
- ・人材確保, 人材育成・定着
- ・外国人の採用状況
- ・離職, 採用状況
- ・生産性向上(ICT・DX・ロボット)
- ・防災対策
- ・多職種連携

その他

進行中の事業者向けアンケート

- ・在宅生活改善調査
- ・居所変更実態調査
- ・介護人材実態調査